



1月給食だより

令和4年度
安中市松井田学校給食センター
(☎027-393-1611)

あたらし いわし しょうがつ た べる「おせち料理」は、年が明けてから神様のおさがりとしていただく料理です。意味を知っていただくと、その意味の持つ力をいただける気がします。新たな一年、今年もきついい年です。早寝・早起き・朝ごはん、気持ち新たに3学期をむかえましょう。



おせちにこめられたねがい



おせちとは、

お正月に食べるお祝いの料理で、「めでたさを重ねる」と重箱につめて出されます。おせち料理にはそれぞれ新しい年へ願いがこめられています。

●田作り



昔は干したいわしをたんぼの肥料にしました。小さいいわしを使った田作りは豊作を願って食べられます。

●こぶまき



「こぶまき」は「よろこぶ」に通じ、一年楽しく暮らせますようにという願いがこめられています。

●くろまめ



黒には魔よけの力があるとされてきました。「まめによくはたらき、健康に暮らせますように」という願いがこめられています

●くりきんとん

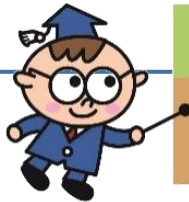


「きんとん」は金の丸いものことです。くりは「勝ちぐり」ともいい、運を呼びこむ食べものとされてきました。

●だてまき



「だてまき」は巻物(昔の巻本)に似ていることから、たくさん勉強して頭がよくなりますように願って食べられます。



1月24日~30日「全国学校給食週間」 日本の学校給食の歴史を知ろう!

学校給食のはじまり



明治22年、山形県にある大督寺というお寺の中に建てられた忠愛小学校で始まりました。大督寺のお坊さんが、家々をまわってお経を唱え、いただいたお米や野菜を使って、貧しい家の子どもたちに食事を用意したのが給食のはじまりです。

明治22年ごろ



その後、子どもたちのえいようを改善するための方法として各地へひろまっていきました。

大正12年ごろ



昭和17年ごろ



ところが、戦争による食料不足の影響で、実施できなくなってしまいました。

支援物資による学校給食の再開

戦争は終わりましたが、子どもたちの栄養状態は悪化。アメリカからの給食物資をいただき、給食が再開されました。

昭和22年ごろ



脱脂粉乳を船から降ろすようす

※松井田小 昭和29年5月給食スタート

昭和27年ごろ

アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食がはじまりました。



※細野小 昭和33年5月給食スタート
※西横野小 昭和35年8月給食スタート

昭和40年ごろ

昭和30年後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳になり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食が増えていきました。



※昭和39年4月 中学校ミルク給食スタート

昭和51年ごろ

ごはんが給食に導入されたのは、昭和51年のことです。



※昭和46年4月12日 松井田小中 完全給食スタート
各年代の献立は、独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全Web「年代別モデル献立資料」を参考に作成



冬休みも牛乳をのもう

ロイヤルミルク

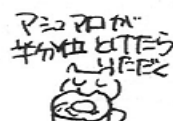


牛乳の中に紅茶のティーパックを入れてあたためる

ホットマシュロココア



温めた牛乳にココアをヒかしその上にマシュロをのせる。



りんごのスムージー

りんごは10大にカットし冷凍庫で凍らせておく

